

# 山腹崩壊に係る地域対応でみえた国有林への期待 ～地域における森林管理署のあり方についての一考察～

空知森林管理署 治山グループ 一般職員 岡倉 洋平  
業務グループ 一般職員 石田 翔也  
紅葉山森林事務所 一般職員 山本 晃揮

## 取組に至った背景

平成30年9月、夕張市沼ノ沢の国有林で胆振東部地震の影響と思われる山腹崩壊が発生。土砂流出のおそれがないことは遠望でも確認できたため、市を通じて地域の皆様にお知らせしました。

令和元年7月、「崩壊が広がったように見える」「昔も大きな地すべりがあったから不安だ」という情報をいただきました。

地域の皆様に安心していただくには「**直接、現地の状況を伝えることが重要**」と考えたことから、詳細な現地調査を行って資料を作成し、市の担当者および町内会の代表者に説明を行いました。

**本発表では、今回の取組で学んだことを基に地域における森林管理署のあり方について考察します。**

## 夕張市沼ノ沢の山腹崩壊地



## 取組の経過

取組に当たっては、治山担当とICT活用チームが検討を行い、森林事務所と連携して以下の作業を進めました。

- ①現地踏査及びドローンによる崩壊箇所と周囲の確認、測量
- ②現地の山地災害履歴と治山工事の実績および効果の確認
- ③山地災害の種類とメカニズムおよび予防復旧対策のまとめ

結果、土砂流出のおそれがないことを再確認できたため、資料をまとめ、市の担当者および町内会の代表者に現地状況をお伝えしたところ、安心していただくことができました。

**一方、森林行政として地域に貢献するためには、まだ課題があると考え、その解消策を検討し、新たな取組を進めています。**



## 課題解消の取組①

### ◎地域における 窓口機能の向上



#### いま取り組んでいること

- ・森林事務所では、随時ドローンで崩壊箇所を確認。結果を地域にお知らせしています。

#### これまで以上に取り組んでいくこと

- ・情報受信の感度向上（アンテナを高く広く）
- ・地域対応の速度向上（初動対応を適切に）
- ・情報発信の連携協力（広報誌の活用など）

## 課題解消の取組②

### ◎職員として必要な 技術・技能の向上



#### いま取り組んでいること

- ・ICT活用チームを結成。ドローン講習会の開催やオルソ画像の活用などにトライしています。

#### これまで以上に取り組んでいくこと

- ・観察・判断力の向上（現場から学び考え行動）
- ・ICTの活用力向上（作業の効率化を図る）
- ・チームワークの向上（One Teamの精神）

## まとめ

地域の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、空知森林管理署はこのようにありたいと考えます。

1. **地域に根づいた親しまれる組織であること**
2. **地域と連携協力できる組織であること**
3. **地域の声に対応できる組織であること**

そのために

地域の皆様とふれあう機会を大切にする

市町村および関係機関と積極的に情報共有する

日頃から森林管理経営の技術と技能の向上に努める